



高知県議会の議員定数と選挙区 県民の声が正しく反映されるものに

●11月7日、県議会議員定数問題等調査特別委員会が開かれました。

私たち日本共産党は、県議会の定数は、多様な県民の声の反映、行政運営のチェックという議会に求められる機能を充実させ、地方自治体の目的である「住民の福祉の増進」に資することを基本に、以下の3点を原則にすべきと考えます。

- ① 定数は、現行39議席から削減せず、人口比例を基本とする。
- ② 1人区は廃止し、多様に声が反映できる区割りとする。
- ③ 高知市を分区することはしない

選挙区	人口	定数
高知市	27万7382人	15
室戸市、東洋町	1万6333人	1
安芸市、芸西村	1万9619人	1
南国市	3万9558人	2
土佐市	2万3953人	2

須崎市	1万9849人	1
宿毛市、大月町、三原村	2万4866人	2
土佐清水市	1万3472人	1
四万十市	2万9458人	2
香南市	2万7777人	2
香美市	2万3377人	1
奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村	1万170人	1
長岡郡、土佐郡	1万1604人	1
吾川郡	2万7278人	2
高岡郡	5万3451人	4
黒潮町	1万626人	1

●7日の会では、前回9月に出了た、香美市(現行1)の定数と比較し均衡が疑問視される土佐市区(現行2)、そして高岡郡区(同4)を各1減とし、総定数(同39)を2名減すことなどが話されました。特別委員会に出ている塚地議員は、先の3原則を基本にこれらの審議に参加し、意見を述べました。

現在、国でも選挙区の区割り設定に影響する公職選挙法改正案の審議が行われており、その動向が見通せない状況があり、「今回の特別委では抜本的な見直しは難しい」との認識でほぼ一致し、次回に向け、各会派で更に意見集約が図られます。



●写真は、7日、高知県立安芸中・高等学校での文化講演会後の「新井満さんを囲むしるし」のシンフォニーを初演したばかり。



★「千の風になって」
新井満さんと
にゃんでも通信

7日、芥川賞作家で「千の風になって」の訳詩・作曲家新井満さんが来高。上智大学法学部卒の新井さんは今年創立100周年を迎えた母校から記念聖歌を委嘱され、この一日に東京国際フォーラムで開催された「上智大学創立百周年記念式典」で、作曲した『神様のシンフォニー』を初演したばかり。

で高知上智大学オービー学会長の岡村紀子さんと駆けつけて一緒にショット。3・11「希望の木」のお話と歌で会場は最高に盛り上がりました。

無料 法律相談

12月12日(木)午後6時～8時

弁護士 山本尚吾さん

場所 吉良富彦事務所
(愛宕商店街「おらんく家」対面)

TEL.855-9439